

はまなす

第117号 令和5年6月30日

<特集>

転入・新入会員自己紹介(2・3・4面)
佐渡ときわ賞受賞者の実践 (4面)



進化・深化し続けるときわ会

金井小学校

藤井 衛



未来を見据えて



はまなす抄

真野小学校
森 和人

一 はじめに
今年度、ときわ会は創設百五十周年の節目を迎えます。東京大学や早稲田大学よりも歴史が深い「ときわ会」の会員であることを誇りに思います。

三 佐渡支部 取組の重点
本部の活動の重点と重点達成の三点を受け、佐渡支部で運営をしていきます。

四 おわりに
新型コロナウイルス感染症の数年間、学校生活と同様に、数人が加えられたにも、大きな制限が加えられ、関係を取り戻すことは容易なことであり、希望は、酒席がなくなったり、飲み会が減少したり、話したことがない、交流が減少し、オンラインでの交流が抵抗なく話せるようになった。この変化は、私たちの生活に大きな影響を与えています。

二 本部 活動の重点
白石誠史郎新会長は、「新しい時代の教育に一人一人を高め、続ける」という思いを込め、共に歩むときわ会を基本方針とし、次の四点を今年度の重点目標としています。

② 「ルネサンス・E運動」の各部が中核となり、授業力の向上をはじめとする実践的指導力を高める研修を充実させます。

③ 会員の連帯感と結束力を高めるため、対面による集いの原形とし、オンライン集いの新しい形を集いながら、積極的な取り組みを構築し、努力を怠りません。

① 会員の一人一人のニーズに応じた多様な資質や指導力を向上させる研修の推進
② 支援による一人ひとりの成長と組織の活性化
③ 研修や活動の情報公開と発信
④ 通信ネットワークの拡充

① 加えて次の三点を努力目標として取り組みます。
② 地区行事による積極的な働き掛けを行います。
③ 女子会員の増やします。

③ 支部会費の削減を行うため、それぞれの活動にかかる経費の必要性を各委員会、正副支部長・三委員長会等で検討し、令和六年度の総会での承認を目指します。

の志の再確認と新たな歩み
百五十周年の節目を迎え、歴史が深い「ときわ会」の会員であることを誇りに思います。

① 加えて次の三点を努力目標として取り組みます。
② 地区行事による積極的な働き掛けを行います。
③ 女子会員の増やします。

③ 支部会費の削減を行うため、それぞれの活動にかかる経費の必要性を各委員会、正副支部長・三委員長会等で検討し、令和六年度の総会での承認を目指します。

私自身も機械音痴であり、そんな私は令和二年度より教育行政職となり、急ピッチに進められたGIGAスクール構想に携わった。令和三年度からは、さらにICT環境を整えたり、授業での有効活用を促したりする立場として勤務した。